

平成25年5月24日(金)

日本株式急落による基準価額下落について

5月23日の国内株式市場は、昨年末から始まった株高・円安局面での最大の下落率となり、日経平均株価は、前日比1,143円安(-7.32%)となりました。

日本市場の下落の主な要因は、民間の調査会社によって発表された中国の5月のPMI(製造業購買担当者景気指数)速報が悪化したのを機に、先物主導の取引が現物株式の値下がり加速させたものと考えます。

昨年11月のアベノミクス効果による株高でTOPIXや日経平均などの指数は約60%上昇しました。その中で、当社の4本のファンド「浪花おふくろ」「かいたく」「らくちん」「コドモ」は、日本株式に投資するファンドへの投資を増加させ、現在、各ファンド40%~60%前後の比率を維持しています。今回の日本株式の急落は、相場が短期間で上昇したことで起こる短期的な調整だと認識しています。

足元、昨年比べて為替水準が大幅に円安になっている事で、企業の収益環境が改善しており、一部の銘柄を除いて株価がバブル化しているとは考えづらい状態です。しばらくはある程度の調整相場が続くものの、将来的には企業の業績を反映した本来の相場に戻るものと考えています。

当社では、今後も常にお客様のために、堅実な運用を続ける所存ですので、何卒、ご理解くださいますようお願い申し上げます。

クローバー・アセットマネジメント株式会社

代表取締役 宮内鋭